

『あなたは何を持っていますか』

ヨハネ6：1～14

あなたのもてる物で神を日々体験し、伝える

人の手によって造られたもので目的がないものはありません。車や飛行機にも様々な種類があります。しかし、どれにも役割や特長があります。それと同様に自分自身の役割や特長をどのように捉えていますか。すなわち、自分が自分らしく生きるために持っているものを知っているのかとも言えます。これをしっかり知っていないと、自分らしく生きることは難しいのです。その持ち物とは何のために持っているのでしょうか。神様は私を通して何を示したいと思っ
ているのでしょうか。それは周りの人々に良い影響を実感させてるものであり、最終的にはお互いに神様を体験するために持っています。5つのパンと2匹の魚の喩えからアンデレはパンをどうしようかというイエス様の問いかけを適当に流しませんでした。そして頭では意味がないことがわかっていながら、少年をイエス様の前に連れて行きました。このようにアンデレが自分の役割を果たした時に奇跡がおこったのです。アンデレには人を連れて行く（本物の男性）という意味があります。そして自分の持っているものを差し出した少年の姿を見ることができます。常識的には到底5千人以上の人に分け与える事など不可能でありましたが、持てるものを神に差し出しました。それを弟子たちが分け与え始めた時、奇跡が起きたのであります。自分の持っていないものを差し出したのではありません。自分にあるものを差し出しただけなのです。私たちも自分が持っている知っているものをこの世の常識や考えで留めることなく、神様に差し出す事が“自分の役割を果たす”こととなります。そうすると神様の手により奇跡が起きました。これがはじめての給食となり、歴史に残る事となりました。一番良くないのは自分が持っているものを提供しないことです。自分さえよければよいという心があるとそうなりかねません。今、私たちが与えられている環境も、祈って解決された環境も、神様が私たちを祝福し人々に与えるために与えてくれたものです。あなたは与えていますか？私たちは喜んで種まきをしなくてはなりません。傍観者にならないために**①持てるものを差し出す**。ただ単純に使ってほしいと差し出すことから始めましょう。完全なものではなく、5千人に対して5つのパンと2匹の魚であったように取るに足りないと思えるものでも差し出しまさう。それを祝福し奇跡にするのは神様です。**②神様の業を日々体験する**。差し出すのであれば、必ず奇跡がおきます。日々神様を体験しないと信仰が弱まってしまいます。奇跡を体験し自分の信仰を高めるようにしましょう。**③あるものを伝える**。自分が体験した証しを通して今の幸せを伝えていく事をしましょう。神の奇跡には必ず救いが起こります。救われる→役割を果たす→奇跡→与える→救われる。教会はこの循環です。難しい言葉でイエスを伝えるのではなく、自分の言葉で証しをしていきましょう。